

本時のねらい

目的や進め方を確認し、それぞれの役割を果たしながら、互いの意見の共通点や相違点に着目して、意見をまとめることができる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・自分たちの話し合いを録画したものを、1人1台端末を活用し視聴することで、客観的に振り返ることができる。
- ・イヤホンを使用し、視聴することで、1人1人が個の学習をすることができる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・電子黒板 ・apple クラスルーム ・ロイノート ・AppleTV ・イヤホン

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の活動内容をつかむ。 「話し合いをふりかえり、次の話し合いで気をつけることを決めよう。」 ○前回話した内容について振り返り、よかった点、次は、気をつけたい点を考える。(写真1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板で授業の流れを可視化する。
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> ○話し合いの観点を考える ○各自前時で録画した話し合いを、イヤホンを使用し個人のタブレット端末を利用して視聴する。 ○ワークシートにまとめていく。 ○班で自分たちの話し合いを振り返る。(写真2) ○司会・記録・時計・発表の係に分かれ、それぞれの係の役割を果たす。 ○記録係がロイノートで話し合いの内容をメモする。 ○発表係が決まったことをクラス全体に発表する。 <p style="text-align: right;">(写真3)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの観点を示したワークシートを電子黒板に写す。 ・イヤホンを活用することにより、客観的に自分たちの話し合いを振り返ることができる。また、静かに集中して学習することができる。 ・記録係は、記録の方法を自分で考え、メモをタブレット端末に残す。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ○話し合いについての全体での振り返りを総括する。 ○次時に向けての話をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板に振り返りのメモを映すことで児童の意見が全部見えるようにすることができた。

1人1台端末を活用した活動の様子

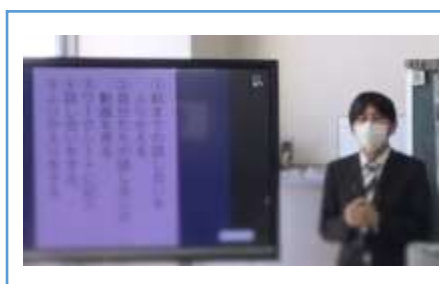


写真1 電子黒板に授業の流れを映している様子



写真2 イヤホンを使い、自分たちの話し合いを見て、ワークシートに記入している様子



写真3 授業支援ソフト「apple クラスルーム」を使い、電子黒板に映し、発表している様子

児童生徒の反応や変容

- ・観点をしぼり、ワークシートを作成したことで、自分や班の人とも振り返りやすかった。話し合いの際は、ワークシートを見ながら説明していた。
- ・ロイノートで記録係が記録方法を指定しないことで、自分で考える力がついた。文字の入力方法も、音声入力・フリック入力などさまざまな方法で行っていた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・タブレットを使ううえで基本的な録画機能を活用して授業を組み立てた。
- ・イヤホンを活用することで、今までできなかった自分の話す声を聴くという活動が生まれた。新しいソフトやアプリは必要なく行えるので、ほかの教科や単元でも活用できる。例えば、外国語でのスモールトークや国語の発表場面、算数の筆算の説明を動画で撮るなど、どの教科・単元でも活用できる。